

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2021-2005	利用 形態	内部研究	利用する 試料・情報	対象:詳細三次調査参加者 300名 試料:なし 情報:調査票情報		
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	-		
研究題目	食・マイクロバイオーム・健康情報統合データベースの社会実装加速用 データの取得			研究期間	2021年7月～2023年3月		
実施責任者	寶澤 篤	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	教授	
研究目的と意義	<p>内閣府による、「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現すること」を目標に、持続可能性、循環型社会、健康(ウェルネス)をキーワードに産業界、大学、自治体等の参画も得て推進しているバイオ戦略2019の取り組みで「健康人コホート・バイオバンクについては、ゲノム情報に加え、腸内細菌叢、代謝物等の生化学的データ等の情報を疾患罹患情報や環境・生活習慣情報と統合、解析を実施。これにより、多様な分野(健康、スポーツ、食品等)において、科学的エビデンスに基づいたサービスを提供できる環境を整備」とある、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP事業)に参画し、産業界の多様な分野が活用できるデータセットを作成する。具体的には便検体より腸内細菌叢構成を調査し、自己申告の身体症状との関連について評価を行う。また、このデータセットについては対象者の同意に基づき産業界も含めて利用可能なデータセットとして制限公開を目指す。</p>						
研究計画概要	<p>対象者から同意を得て便検体を収集し、腸内マイクロバイオーム解析を行い、ショートリードメタゲノムデータ取得を行う。メタゲノムデータと調査票情報の相関解析を実施する。取得したメタゲノムデータは、東北メディカル・メガバンク機構がバイオバンクに格納し、制限公開データとして公開する。</p>						
期待される成果	マイクロバイオームデータを含むデータセット構築と、制限公開が行われる。						
これまでの倫理審査等の経過	2021年7月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認						
倫理面、セキュリティ面への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体試料の収集及び研究参加については、対象者より文書で同意を得て行われる。</li> <li>・研究は、ToMMoセキュリティポリシーに則って実施する。生体試料から腸内細菌DNA抽出、マイクロバイオーム解析後の情報解析は、外部業者に外注するが、いずれの業者も、ヒトゲノム情報をはじめ、個人情報に紐づく情報は取り扱わない。</li> </ul>						
その他特記事項	受託研究費(農研機構:戦略的イノベーション創造プログラム(SIP))						
* 公開日	令和3年9月6日						